

第八回備前市文学賞 詩【一般の部】 入選作品

およぐ

備前市穂浪 難波亜紀

パトカーはオトパーで

コロッケはコレッコで

かいじゅうくんは

きょうも

ことばのうみでおよぎます

おとなになったらおよげなくなる

そんな

ことばのうみで

それはイヌかき？

それともネコかき？

カップラーメン

伊部小学校六年 佐藤蒼介

湯をそそぎ ふたを閉め

三分待てば おいしいラーメン

お湯を入れたら 熱いって思うのかな

それとも びっくりするかな 怒るかな

ふたを閉めたら 怖いかな

もしかしたら こっそり何かしているのかも

三分間 何してるんだろ 寂しいのかな

仲間と話しているのかもしれない

食べられる時 どう思うんだろ 楽しいかな

ワクワクかな もしかしたら 泣くのかも

・・・でも そう思うかな 本当のことは

カップラーメンに聞かないと 分からない

だけど 可能性は ゼロじゃない

人生

三石中学校三年 岡崎心寧

朝早く起きても遅く起きても

遅刻しなかったらいい。

友達が多なくても少ななくても

本音を話せる人がいたらいい。

頭が良くても悪くても

周りを明るくさせられるならいい。

怒っていても無邪気でも

迷惑をかけなければいい。

余裕でも緊張していても

最後までやり切れればいい。

大人気なくても子供っぽくても

自分の個性ならいい。

お金持ちでも貧乏でも

幸せならいい。

夢が大きくても小さくても

最後に叶えばいい。

この先何があっても

みんなに支えてもらえばいいんだ。